

2015年度びっくりエコ発電所活動報告

発電関連事業

- 発電事業の状況
各施設とも順調に発電。累計発電量:255,653kWh 累計予測比:116.1% 累計前年比:100.8%(別紙のとおり)
- 西京高等学校2R研究プロジェクト支援 浅利理事
6月2日 チームミーティング
京都大学「くすちゃんフェスタ@時計台・特別シンポジウム」で取組の中間発表を行う。
6月20日 門川大作京都市長をはじめとするパネリストの方々とパネルディスカッションを行なう。
(附属中学吹奏楽部も特別出演して演奏を披露)
- 『霊長類と環境について学ぶ旅』バス見学ツアー開催 尾池理事・浅利理事
8月10日 目的:霊長類の暮らしや知恵に触れると同時に、環境とのかかわりについて学ぶ。
愛知県の犬山市まで足をのばし、京都大学霊長類研修所と日本モンキーセンターを視察してきました。夏休み期間中ということもあり参加者は約40名でした。
- 電源用コードリール寄贈 田村事務局長
40台
10月14 当団体の発電設備は、非常時に京都市へ無償提供することになっているものの給電するための
～22日 コードリールが無い場合、有効活用できない状況だったことからコードリールを当団体から寄贈した。
大將軍小学校 9台
大枝中学校 9台 ※寄贈台数
春日丘中学校 7台 =パワコン台数
西京高等学校 5台
西京まち美化事務所 10台
- 11月28日 西京高校1年生環境シンポジウム 高月代表・浅利理事
- びっくり!エコ新聞の発行 びっくり!エコ実行委員会
7月10日 第4号発行
3月1日 第5号発行



COP21プロジェクト(単年度事業)

- 10月16日 伏見工業高校へ家庭用蓄電池パワーイレ寄贈(大和リースより寄贈された備品)
- 10月26日 パリのカウンターパート「テラチタ」へGSユアサ様のご協賛により蓄電池を発送。
- 11月28 COP21記念びっくり!エコ合宿 高月代表・西本理事・浅利理事
～29日 京都議定書の次なる国際的取組(COP21)に向けた議論が進められ、たな枠組みが決められる。
COP3以降、京都では多くの学校や若者による取組が生まれ、ユニークな成果が花開いています。
そこで、京都とパリの若者を中心に、互いの取組を紹介したり、想いを交換したりする場を作り、さらなる進化・深化を目指す取り組みを支援した。



参加団体は以下のとおり
京都市立西京高校2R研究チーム & COP21チーム
京都市立伏見工業高校チーム・・・地域密着型の小水力発電

